

宇野操一、海軍燃料廠探炭部上田儀右衛門、株式會社

麻生商店野田勢次郎、明治鑄業株式會社安川清三郎、

三菱鑄業株式會社筑豊鑄業所藤岡萬五郎、株式會社安

川電機製作所安川第五郎、日本ビル株式會社博多工

場近藤正夫、浅野セメント門司工場小杉義治、

労働組合側 總同盟九州聯合會伊藤卯四郎、海員組合門

司支部飯島林次郎、日本勞働組合會議濱橋文作、海員

協會若松出張所土田雅久、石油勞働組合西戸崎支部内

野福太郎、總同盟九州聯合會久保時造、海員組合戸畠

支部久保田長一郎、製鋼勞働小倉支部近藤乾太郎、日

本產業勞働協進組合佐保實、日本製鐵從業員組合嶺慶

二、日本石炭坑夫組合宮崎太郎、セメント労働門司支

部白木清三、

官廳側 福岡縣警察部長數藤鐵臣、福岡縣工場課長渡邊信夫、福

岡縣特高課長青柳一郎、鐵山監督政課長川本健二

主催者側 協調會常務理事吉田茂、協調會労働課長町田

辰二郎、協調會教育課長鈴木誠治、協調會福岡出張所

長清原進

▲第四回勞資懇談會

一、日 時 昭和九年五月十九日午前十時

二、會 場 福岡市因幡町福岡縣教育會館

三、出席者 (順序不同)

労働組合側 總同盟九州聯合會伊藤卯四郎、製鋼勞働組合小倉支部福井春次、セメント労働組合門司支部白木清三石油労働組合西戸崎支部内野福太郎、日本製鐵從業員組合谷口友太郎、日本石炭坑夫組合宮崎太郎、筑豐合同労働組合岡本與市、日本製鐵從業員組合嶺慶二、製鋼勞働組合小倉支部近藤乾太郎、日本產業労働協進組合佐保實、官業労働總同盟小倉草正會大平嘉三郎、海員協會若松出張所江田義治、日本製鐵從業員組合

主催者側 福岡縣警察部長青柳一郎、福岡縣工場課長渡邊信夫

本健二

主催者側 協調會常務理事吉田茂、協調會労働課長町田

辰二郎、協調會教育課長鈴木誠治、協調會福岡出張所

長清原進

九州聯合會の第六回年次大會の決議であり日本労働組合會議第二回年度大會の決定に従つて本年のメー、デーは日本労働組合會議九州地方協議會の主催の許に加盟團体より七百余の組合員を動員し小倉市に於て一大街頭デモを敢行し堂々たる労働階級の示威を行つた。非常時局の名に媚びて、浮薄無節操にして、労働階級の魂を資本主義の便衣隊アツシヨに賣つた反動階級の輩が建國祭、愛國労働祭と水泡的に盡めく中に、健質なる労働組合主義の大旆の下に、組織された労働階級がメー、デーを期して勢揃ひ歩武堂々と街頭示威を行つたことは非常時局の重壓下に苦呻してゐる未組織労働階級に力強き信頼の念を懷かせるに充分であつた。九州聯合會はこの街頭示威へ五百余の同志を送り、九州の戰線に於ける實力ある最強の労働組合の實を内外に宣揚した。

三、國際勞動代表一行の歓送迎

九州聯合會は日本労働組合會議九州地方協議會の決議に基き、本年四月二十日、第十八回國際勞動總會日本勞動代表菊川忠雄君、顧問岩永榮一君、鈴木倉吉君、全體員鈴木悅次郎君が渡歐の途、門司寄港に際し、多數の組合員を門司港内に動員し、數旗の組合旗を掲げ故國最後の港に於て、盛大なる歓送迎を行つた。この時、第十八回國際勞動總會を期して世界

事業主側 明治鑄業株式會社安川清三郎、株式會社渡邊

鐵工所渡邊福雄、株式會社麻生商店野田勢次郎、海軍

燃料廠採炭部大東健夫、佐世保海軍工廠成田二郎、合

名會社岡部鐵工所岡部繁、日本製鐵株式會社八幡製鐵

所磯谷光享、日本製鐵株式會社二瀬鑄業所吉田健三郎

日本製鐵株式會社八幡製鐵所安永渡平、日本製鐵株式會社二瀬鑄業所吉田友輔、大日本麥酒株式會社博多工

場近藤正雄、またふくわな株式會社原田平五郎、日本

足袋株式會社福岡工場大江力、陸軍造兵廠小倉工廠高橋貞夫代理野間弘作、北九州商船株式會社松尾貞一、

三菱鑄業株式會社筑豊鑄業所藤岡萬五郎、三井鑄山株式會社田川鑄業所宇野操一、三井鑄山株式會社山野鑄業所神谷春雄、三井鑄山株式會社三池鑄業所川島三郎

代理坂本正道、飯塚鑄業株式會社江頭佳造、博多電氣

軌道株式會社稻石貞道、ライジングサン石油株式會社

岡田臺勝、九州電氣軌道株式會社井上博道、東京製鋼株式會社小倉工場菊池寛次、淺野セメント株式會社門司工場ノ瀬亮一郎代理小杉義治、安田商事枝光支店

安田製錫所瀧川岩太郎代理森繁哉、明治紡績會社

戸畠工場岡田晋次郎代理山本秀男、日本足袋株式會社

石橋正二郎代理小橋井寛、株式會社安川電機製作所安川第五郎代理平山源一郎、嘉穂鑄業株式會社嘉穂鑄業所松村茂代理小出智十郎、筑豊石炭鑄業會吉見寅